

株式会社プラザクリエイト

増大するデータに対応できる拡張性、信頼性とパフォーマンスによって デジタルプリントサービスを支えるアイシロン スケールアウト NAS

— デジタルプリント時代に新しい価値を提供する



株式会社プラザクリエイトの各サービスのホームページ

アプリケーション

膨大な画像データを迅速に取り扱うオンラインデジタルプリントサービスを支えるスケールアウト NAS ソリューション

課題

デジタルカメラやカメラ付き携帯電話の普及とともにデジタルプリントのニーズがますます高くなっています。「デジプリ」を代表としていち早くオンラインプリントサービスの提供を開始した株式会社プラザクリエイトでは、肥大化する画像データに対応するために、ストレージシステムの増強が必要でした。頻繁に大容量データのやり取りが発生するデジタルプリントサービスを実現するためには、高いパフォーマンスと信頼性、拡張性を備えているストレージソリューションが必要でした。

Isilon IQ のメリット

株式会社プラザクリエイトが Isilon IQ を採用したのは、以下の理由によります。

- 頻繁な大容量データの移動を実現する堅牢性と高パフォーマンス
- 不具合がほとんど発生しない高い信頼性と可用性
- 優れた安定性によるストレージ運用管理要員とコストの削減
- 複数のOSやファイルシステムに対応できる柔軟性

オンラインプリントサービスを 業界に先駆けて提供

1988年に創業した株式会社プラザクリエイトは、ハイスピードかつハイクオリティな写真プリントを中心としたサービスを提供しています。日本全国に「パレットプラザ」と「55ステーション」で合計1,000店舗以上のショップネットワークを展開しているほか、1996年には業界に先駆け世界初のインターネットを経由したオンラインプリントサービス「デジプリ」の提供を開始しています。

いち早くインターネットを利用したプリントサービスを始めた同社の執行役員システム本部部長の石川竜一氏は、「この数年のデジタルカメラや携帯電話に搭載されているカメラの高画質化には目を見張るものがあります。それに伴って、写真1枚あたりのデータが肥大化しています。従来は1MB程度だったデータ容量が、現在では1枚で10MBを越えるものも珍しくありません。当社がこだわる高い品質のプリントサービスを提供し続けるためには、画像データの増大に対応できるようにストレージシステムの増強が必要不可欠でした」と、デジタルプリントサービス市場の動向と同社の課題を指摘します。

特に年賀状のプリントサービスは年末に集中するため、ピーク時のデータに確実に対応することも、同社のシステム増強の課題でした。その同社が採用を決めたのが、アイシロンのスケールアウトNASです。



株式会社プラザクリエイト
執行役員
システム本部 部長
石川竜一氏



株式会社プラザクリエイト
システム本部 システム運用部
システム運用グループ
小林敬人氏



株式会社プラザクリエイト
システム本部 システム運用部
システム運用グループ
茂木裕行氏

急激に肥大化する画像データに 確実に対応できる「Isilon IQ」

同社のストレージソリューションを選定するにあたって、3つの要件を挙げるのは、システム本部 システム運用部 システム運用グループの小林敬人氏です。「まず重要視したのは、スピードです。お客様からお預かりしたデータは、プリントした後は破棄し、次のお客様のデータを受け入れる必要があります。また、ほとんどの場合、当社で加工を施します。そのため、高スループットは必須の条件でした。2点目は堅牢性です。情報システム部門の負担を増やさずに大容量データを運用できる高いメンテナンス性が必要でした。最後は複数のOSに対応できる柔軟性です」

同社のストレージシステムが一般的な企業のストレージシステムと最も異なる点は、その運用方法にあります。いったん顧客から預かったデータはプリント終了後に破棄され、新たな顧客のデータがストレージに保存されるため、ストレージシステムには高い耐久性が要求されます。また、顧客から預かった画像データの調整や、印刷用にさまざまな加工を行うためには、大容量の顧客のデータをストレージとサーバ間で頻繁にやり取りできる高いスループットが必要でした。

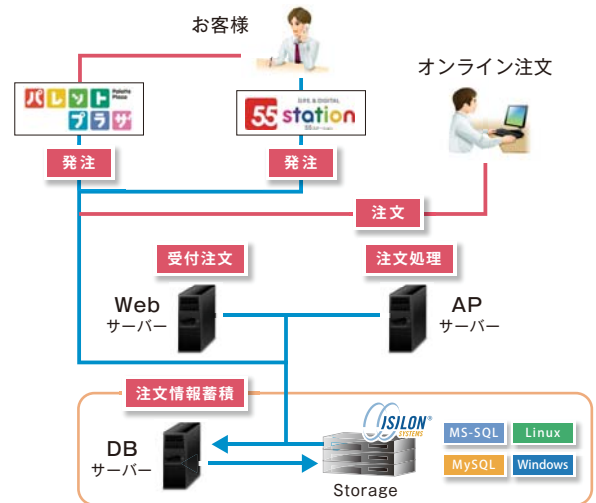
「当社では、Windowsサーバ(CIFS)とLinuxサーバ(NFS)を使用しています。2つのOSに同時に対応できるストレージソリューションで、十分なパフォーマンスを持つ製品はアイシロンだけでした」と打ち明けるのは、同社システム本部 システム運用部 システム運用グループの茂木裕行氏です。

さらに茂木氏は、「製品選定の段階では、実運用レベルの大容量データでテストすることが難しいのが実情です。そのため、カタログスペックだけで製品を判断するのは難しい面があります。しかし、アイシロンを導入したことで、年末年始のピーク時も問題なく乗り切ることができました。ピーク時にデータ容量が増大しても、うまく負荷が分散されるためにシークタイムの低下もありませんでした。また、ケーブルングや設定が簡単で構築に時間がかからない点も弊社のニーズに合っています」と、アイシロンのアーキテクチャを高く評価しています。

写真プリントを通じて 新しい価値を創造していく

2005年頃はわずか100GB程度で十分だった同社のストレージは、現在では年末年始のピーク時には1日で1~2TBものデータを受け入れることも珍しくありません。2007年に初めて導入したアイシロン スケールアウトNASは、2010年までに既存のストレージシステムとリプレイスされ、現在は、6ノード36TBに増強されています。

● ブラザクリエイトのプリント出力サービスシステム



ほとんどトラブルが無いと説明する小林氏は、「実は、HDDの故障やネットワーク障害が発生したことがあります。しかし、無停止でスムーズに復旧できたために、現場の担当者以外でトラブルの発生に気付いた人はいませんでした。OSのバージョンアップなどでも一時的に停止しなければならないストレージもあることを考えると、理想的な無停止運転を実現できています」と、アイシロンによる無停止運用に自信を見せます。

石川氏は、「当社は独自にプリンターを開発するなど、プラザ品質と呼ぶ写真の品質にこだわってきました。フォトブックはもとより、古い写真の修復などのデジタル技術とプリント技術を活かしたサービスや、Tシャツなどのプリントサービスなどの既存サービスの充実に加えて、今後は顧客の写真画像データを預かるストレージサービスの展開も視野に入れています。そのために、既存のリソースを活用しながらも、よりパフォーマンスの高いストレージの積極的な導入を検討していきます」と、同社の戦略を説明します。

アイシロンでは、同社のようなニーズに対応できる、よりハイパフォーマンスのストレージソリューションを用意しています。そのひとつがマルチティア対応です。データを容量や使用頻度等によってSSD、SAS・SATAに振り分けて階層化することによってIOPS性能の大幅な向上とコストの最小化を実現しています。「ストレージの導入はリースと比較して、長期的なコストの削減に繋がります。また、投資コストも早期回収が可能です。アイシロンのストレージの導入によって、これまで保守管理業務に必要な社内的人的リソースをより高い付加価値を生み出す業務に集中できます」と、石川氏はストレージへの費用対効果を評価します。アイシロンはこれからも、企業の新しい価値の創造をサポートするソリューションを提供していきます。

開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階
Tel: 03-5358-7188 (代表) Fax: 03-5333-4443
Email: contact-jp@isilon.com www.isilon.co.jp